令和 6 年度実施状況調査報告書（スポーツ振興くじ助成）

■活動概要

助成団体	茨城県結城市
事業細目名	ホストタウン国際交流
事業名	カザフスタン空手選手ホストタウン交流
助成金額	2,769,000 円

■調査内容

令和 6 年度地方公共団体スポーツ活動助成（ホストタウン国際交流）で茨城県結城市が行っている「カザフスタン空手選手ホストタウン交流」の実施状況について調査を行いました。

茨城県結城市は、令和 3 年に東京オリンピック事前キャンプとしてホストタウン相手国であるカザフスタン共和国（以下「カザフスタン」という。）の空手選手を受け入れた実績があります。招待されたカザフスタンの選手 9 名と代表者 1 名は、通訳者と結城市の担当者が連携を取りながら対応をしておりました。

スポーツ振興くじ助成へ申請した理由は、子どもたちへオリンピックメダリストを含めた国際大会で活躍する選手との交流や体験などをしてもらいたいことがきっかけだそうです。その他にもホストタウン相手国とのスポーツ国際交流を通じ、地域の活性化等を推進することだけでなく、多様な分野の関係発展に努めること、並びに空手に親しむ子ども・学生等の競技力向上や国際感覚の醸成を図ることを目的としているとのことでした。

今回、実施されたホストタウン国際交流事業は 2 日間に亘り実施され、小学生から高校生までを対象としており、初日は小学生約 350 名、2 日目は中学生・高校生約 150 名の参加者が参加しました。調査当日は、ホストタウン交流事業の前に「結城市制施行 70 周年記念第 40 回記念青少年空手道結城大会」が行われ、参加した小学生の保護者をはじめとする各道場の関係者で観客席は満員の状況でした。

大会終了後に結城市の担当者より、ホストタウン国際交流事業が始まり、大会に参加した小学生の多くが参加しました。事業は市長による挨拶、開会式やカザフスタン代表選手の紹介を行い、選手によるウォームアップから組手に関する実技指導の説明が始まりました。説明後は各マットに代表選手を配置し、子ども同士ペアとなった組はジェスチャーを交えながら直接選手からの指導を受けておりました。

■助成の意義

くじ助成を受けたことで、カザフスタンの選手を招待する際の旅費・渡航費、宿泊費及び人件費等の経費への活用が可能となり、当初計画通り多くの選手を招くことができたとのことです。また、今回の実施結果を踏まえて結城市として今後もくじ助成を活用し、カザフスタンと継続的な国際交流を検討したいとのことでした。

■事業効果を高めるための取り組み

ホストタウン国際交流事業についての開催案内を空手大会の要項へ掲載することや SNS の活用による告知を行い、参加者の募集を行ったそうです。また、結城市空手道連盟との連携を密に行い、カザフスタンの選手等とのスケジュール調整をしたとのことです。

■その他

茨城県結城市は、元々空手道場が多く存在し、一部の道場では日本代表も所属していることから空手が盛んな地域となっているとのことでした。

■所感

今回行われたホストタウン国際交流事業は、結城市と結城市空手道連盟、ボランティアスタッフによる協力で運営が行われており、開会式での担当者による説明だけではなく、事業の趣旨やカザフスタンの概要、各代表選手の紹介となる要項も作成されておりました。また、会場内には東京オリンピックで活躍した選手を紹介するブースを設けるなど、カザフスタンの情報だけでなく、招待選手等に関する周知活動も見られ、実技指導以外においても相手国との関係を深める工夫をしていると感じました。

今後もカザフスタンとの関係を深めていただき、ホストタウン国際交流事業がより、発展されることを期待しております。

（令和 6 年 8 月 24 日往査）

（写真）カザフスタン空手選手ホストタウン交流の様子	
	